

かながわスポーツ・ プラットフォーム 事例集

【令和7年4月14日更新】

令和7年4月
神奈川県文化スポーツ観光局
スポーツ課

0 事例集作成の目的

- **かながわスポーツ・プラットフォームは、スポーツを通じて地域活性化や共生社会の実現などの社会的な課題を解決するため、自治体や企業、スポーツ団体などが情報を共有・連携する場として、令和5年8月16日に開始し、1年が経過しました。**
- **これまでの間、会員の皆様のご協力のもと、様々な取組を進めてまいりました。**
- **このたび、会員相互の連携強化や取組の共有を図り、より一層のスポーツ推進を図るため、「かながわスポーツ・プラットフォーム事例集」を作成しました。**

1 事例集（企業）

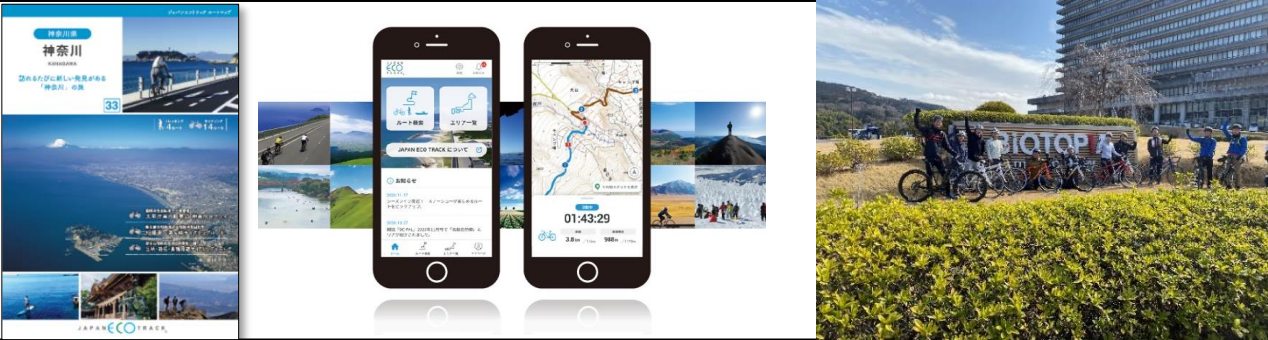
1 事例集（企業）

項目	内容		
事例番号	企 1	連携団体	小田急電鉄株式会社・藤沢市
事例概要	「BMXフリースタイル」W杯開催		
実施年度	令和5年度		
内容	○ W杯を中心に音楽やフードを組み合わせた複合イベントを江の島で開催（R5.2.23～25） ○ 県は会場敷地の確保や広報への協力などで藤沢市とも連携して、本大会を後援するなどして連携		
実施写真			
連携のきっかけ	小田急電鉄が大会を誘致して実施するに当たり、県と藤沢市にも連絡をいただき、会場使用や広報等で連携		

1 事例集（企業）

項目	内容		
事例番号	企2	連携団体	イオンリテール株式会社 イオンモール株式会社
事例概要	働く世代の女性向けのウォーキングイベント		
実施年度	令和5年度～		
内容	○ 週1回の運動実施率が低い県内の20代～40代の女性を対象に、モール内を1日1,000歩以上歩くと、デジタルお買物券等がもらえるキャンペーンを実施 ○ 忙しい日常生活の中で「お買物ついでに歩く」といった形で気軽に運動していただき、運動習慣のきっかけづくりにしていただくことがねらい		
実施写真			
連携のきっかけ	イオンモールの広大な店舗を活用した、イオンウォーキングを行っており、課題解決に向け、方向性が一致		

1 事例集（企業）

項目	内容		
事例番号	企 3	連携団体	株式会社モンベル・各市町村・関係団体
事例概要	県内の広域的なサイクリングルートマップ作成		
実施年度	令和 5 年度～		
内容	○ 市町村をはじめ100以上の団体と意見交換しながら、県内の広域的なサイクリングルートマップをモンベルとも連携し作成（R5.12月完成） ○ 14本のサイクリングルートを作成し、アプリ、ウェブ、パンフレットで情報発信中 ○ 実際にルートを走行するメディアツアーも実施		
実施写真			
連携のきっかけ	令和 5 年度から県スポーツ課で「サイクルツーリズム」を推進することとし、各関係者に協力を呼びかけ		

1 事例集（企業）

項目	内容		
事例番号	企 4	連携団体	スルガ銀行株式会社
事例概要	自転車振興に関するパートナーシップ協定締結		
実施年度	令和 6 年度		
内容	○ 県との「自転車振興に関するパートナーシップ協定」を締結（R6.7.22） ○ 神奈川県で開催されるサイクリングイベントの情報発信・運営やSNS等による情報発信		
実施写真	  		
連携のきっかけ	スルガ銀行の「サイクリングプロジェクト」と県の「サイクルツーリズム」推進の目的の方向性が合致		

1 事例集（企業）

項目	内容		
事例番号	企5	連携団体	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社・横須賀市・三浦市・藤沢市・鎌倉市・逗子市・葉山町
事例概要	駅からサイクリング		
実施年度	令和5年度～		
内容	○ 三浦半島を舞台にサイクリング×列車をテーマに「駅からサイクリング」を実施（R5.11～R6.1） ○ 今年度は湘南・三浦半島を舞台に実施中（R7.1～3） ○ 市町村、企業と連携し、その地域ならではの絶景や様々な魅力をアピール		
実施写真			
連携のきっかけ	JR東日本横浜支社主催で駅からサイクリングを楽しみながらスタンプラリーを実施する取組をルート上にある各自治体も協力して実施		

2 事例集(スポーツチーム)

2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス1	連携団体	横浜F・マリノス・大和シフイト・湘南ベルマーレ・湘南ベルマーレフットサルクラブ・Y.S.C.C.横浜・Y.S.C.C.横浜フットサル・オリエンタル・イシハラ・スター・富士フイルム海老名MinervaAFC・横浜GRITS・木下アール神奈川・三菱重工相模原ダイナボアーズ・横浜フリューゲルス・横浜エクセレンス・富士通フロンティアーズ・富士通レッドウィーブ・富士通カササギレッドスピリッツ
事例概要	県民スポーツ月間での連携		
実施年度	令和5年度～		
内容	○ 神奈川県スポーツ推進条例で定める「県民スポーツ月間（10月）」の盛り上げのため、県内のプロスポーツチーム等の連携協力により、スポーツ体験イベントやフォトラリーを実施し、県ホームページやSNS等で情報発信		
実施写真 （抜粋）			
連携の きっかけ	県民スポーツ月間と各スポーツチームのホームゲーム等でのコラボが可能か、県から提案		

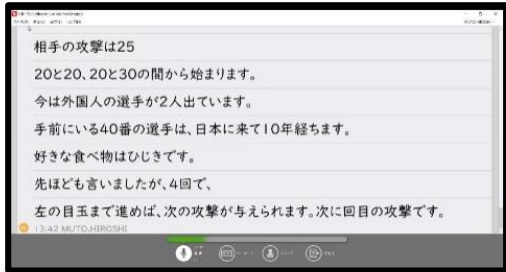
2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス2	連携団体	Y.S.C.C.横浜フットサル・株式会社KTグループ
事例概要	県民スポーツ月間での連携イベント		
実施年度	令和5年度		
内容	○ 県が定める10月の「県民スポーツ月間」に合わせて、会場の最寄駅から会場までを歩く「フォトラリー」や試合会場でのマルシェの実施 ○ 県ホームページ、SNS、広報物等で情報発信		
実施写真			
連携のきっかけ	Y.S.C.C.横浜フットサルのホームゲームで試合の盛り上げを連携して行うにあたり、企画が持ち上がりコラボが実現		

2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス3	連携団体	富士通フロンティアーズ・富士通レッドウェーブ
事例概要	センサリールームにおける試合観戦		
実施年度	令和5年度～		
内容	○ 人混みや周囲の視線を避けられる安心できる環境で、スポーツ観戦を楽しむことを目的として設置 ○ 大きな音や強い光などが苦手な感覚過敏等の特性を持つ児童とその家族を試合観戦に招待		
実施写真	 The three photographs show the interior of the Sensory Room. The left photo shows a room with a large screen displaying a soccer match, a person using a sensory device, and a banner for the 2023 X1 SUPER League match between Fujitsu Frontiers and Sagami Frontiers. The middle photo shows a room with a large screen displaying a soccer match, a person using a sensory device, and a banner for the 2023-2024 V-League match between Fujitsu Red Wave and Denso Iris. The right photo shows a room with a large screen displaying a soccer match, a person using a sensory device, and a banner for the 2023-2024 V-League match between Fujitsu Red Wave and Denso Iris.		
連携のきっかけ	従前より富士通で行っていた取組内容を、県が特別支援学校等へ周知することで、県民の観戦機会の広がりが実現		

2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス4	連携団体	富士通フロンティアーズ 富士通レッドウェーブ
事例概要	ろう学校に通う児童生徒の試合観戦		
実施年度	令和5年度～		
内容	○ 試合に県内のろう学校に通う児童と家族を招待 ○ アプリ「LiveTalk」を活用し、試合の状況がリアルタイムでわかるように解説付きで観戦 ○ 障がいの有無に関わらず、スポーツを楽しめる環境づくりに向けたICTの活用を推進		
実施写真	 		
連携の きっかけ	従前より富士通で行っていた取組内容を、県がろう学校へ周知することで、県民の観戦機会の広がりが実現		

2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス5	連携団体	大和シルフィード・一般社団法人乳がん予防医学推進協会
事例概要	試合会場での乳がん予防検診		
実施年度	令和5年度～		
内容	○ ピンクリボン運動に合わせて、試合観戦時の乳がん検診を実施 ○ チームSNSでも広報し、乳がん予防を啓発		
実施写真			
連携のきっかけ	乳がん予防医学推進協会の取組をスポーツチームの試合会場でも実施できるように、大和シルフィードが協賛者を確保し、コラボが実現		

2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス6	連携団体	横浜F・マリノス・横浜エクスレンス・湘南ベルマーレ・木下アビエル神奈川
事例概要	東京2025デフリンピック機運醸成		
実施年度	令和6年度		
内容	○ 2025年に開催される東京デフリンピックを前に、機運醸成のため連携した事業を実施 ○ PRブースを設置		
実施写真			
連携のきっかけ	デフリンピックの機運醸成でスポーツチームのホームゲームでのコラボが実現		

2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス7	連携団体	横浜F・マリノス・横浜FC
事例概要	働く世代の女性向け運動促進事業		
実施年度	令和5年度～		
内容	○ 運動習慣のきっかけづくりとして、働く世代の女性対象に、楽しく実践できる運動プログラムを実施 		
実施写真	  		
連携のきっかけ	スポーツチームとコラボした、働く世代の女性向けの運動促進事業を県で行うにあたり、声かけしたところコラボが実現		

2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス8	連携団体	パナソニックエンジェルス
事例概要	みなとみらいでLet's スローラン！ほか		
実施年度	令和6年度		
内容	○ チームのコーチ・マネージャーにインタビューを実施し、特集記事を未病女子naviに掲載 ○ 広報物を作成し、様々なイベント、施設等で配布 ○ 気軽に取り組みやすい運動として、「スローラン」をテーマとした運動促進イベントの実施		
実施写真	 The image displays three promotional materials for the 'Let's Slow Run' campaign. On the left is a pink and white poster featuring two women, identified as Coach Kikuchi and Manager Teramae, with the text 'スローランとおすすめレシピで始めよう！未病改善' (Let's start with Slow Run and recommended recipes for improving unmetabolized health). In the center is a pink flyer titled 'Let's スローラン! 目指せ! 3033' (Let's Slow Run! Aim for 3033), which includes a circular diagram showing various health benefits and a QR code. On the right is a vertical poster with a woman running on a beach, titled '働く世代の女性の運動を応援! みなとみらいで Let's スローラン!' (Supporting the exercise of working women in Minato Mirai! Let's Slow Run!).		
連携のきっかけ	スポーツチームとコラボした、働く世代の女性向けの運動促進事業を県で行うにあたり、声かけしたところコラボが実現		

2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス9	連携団体	横浜キヤノンイーグルス・ (三菱重工相模原ダイナボアーズ)
事例概要	ジャパンラグビーリーグワン所属 横浜キヤノンイーグルス と三菱重工相模原ダイナボアーズの「神奈川ダービー」		
実施年度	令和6年度		
内容	○ 県内に本拠地を置くラグビー2チームの直接対決 するにあたり、ホストチームであるイーグルスが 県民無料招待企画を実施 ○ 県も広報に協力		
実施写真			
連携の きっかけ	県内のラグビー機運醸成のため、両チームの方向性が合致し、 神奈川ダービーの盛り上げが実現		

2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス10	連携団体	横浜エクセレンス
事例概要	横浜エクセレンスと湘南ユナイテッドBCの「神奈川ダービー」		
実施年度	令和6年度		
内容	○ B3に所属するチーム同士の神奈川ダービーにおいて、試合を盛り上げや観客数増のため、クラブ初の県民優待デーを開催 ○ 試合においては、かながわキンタロウとPick & Rollがコラボして会場を盛り上げた		
実施写真			
連携のきっかけ	横浜エクセレンスより、試合でのコラボのお話をいただき、かながわキンタロウを含めたコラボが実現		

2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス11	連携団体	三菱重工相模原ダイナボアーズ
事例概要	県立スポーツセンターにおける合宿		
実施年度	令和6年度		
内容	○ チームが県立スポーツセンターにて4日間の合宿を行い、見学会やラグビー教室を実施 ○ 県立スポーツセンターでのトップスポーツチームの合宿は初めてとなる中、事前に視察や打合せを経て円滑に実現		
実施写真			
連携のきっかけ	プラットフォーム会員団体の全体会にて県立スポーツセンターを視察した際、合宿先を探している旨県にご談があり、合宿の実施を県とも調整し、コラボが実現		

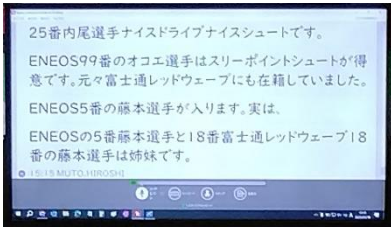
2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス12	連携団体	横浜F・マリノス・Y.S.C.C.横浜・大和シルフィード・ノジマステラ神奈川相模原・横浜エクセレンス・木下アビエル神奈川・富士通フロンティアーズ・富士通レッドウェーブ・湘南ベルマーレフットサルクラブ
事例概要	フードドライブの推進		
実施年度	令和5年度～		
内容	各スポーツチームのホームゲーム開催時に行われるイベント等において、フードドライブを実施		
実施写真			
連携のきっかけ	フードドライブを推進する事業をスポーツチームのホームゲーム等でのブース出展で出来ないか県から相談し、コラボが実現		

2 事例集（スポーツチーム）

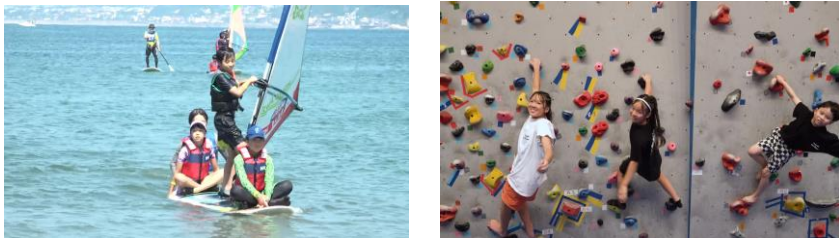
項目	内容		
事例番号	ス13	連携団体	神奈川フューチャードリームス・横浜エクセレンス・横浜F・マリノス・湘南ベルマーレフットサルクラブ
事例概要	「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及促進		
実施年度	令和6年度		
内容	「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及を促進するため、ともに生きる社会かながわ推進週間を7月に県で定め、スポーツチームとも連携して普及に取り組む		
実施写真			
連携のきっかけ	ともに生きる社会かながわ憲章の認知度向上のため、既存の取組の中で出来ることを県からご相談のうえコラボが実現		

2 事例集（スポーツチーム）

項目	内容		
事例番号	ス14	連携団体	横浜F・マリノス・富士通レッドウェーブ・三菱重工相模原ダイナボアーズ
事例概要	障害者がスポーツ観戦を楽しめる方法の実証		
実施年度	令和6年度		
内容	きこえない・きこえにくい人がスポーツ観戦を楽しめるよう、県とスポーツチームで連携し、以下の工夫を実証的に行った ○ 会場の暗転演出時や手拍子・声出しに応じて、応援グッズを振るタイミング等をチャリーダーが分かりやすく扇動（横浜F・マリノス、富士通レッドウェーブ） ○ 音を光や振動に変換する「Antenna」（オンテナ）を付けて、応援や会場の盛り上がりをリアルタイムで体感（富士通レッドウェーブ、三菱重工相模原ダイナボアーズ） ○ 文字起こしアプリを活用し、実況や解説の音声を画面に文字表示したものを見ながら観戦（富士通レッドウェーブ、三菱重工相模原ダイナボアーズ）		
実施写真	   トリコロールギャラクシー （暗転演出）_横浜F・マリノス Antenna（オンテナ） _富士通 LiveTalk （文字起こしツール）_富士通		
連携のきっかけ	各スポーツチームやリーグが従前より取り組んでいる誰もがスポーツを楽しめる環境づくりの考え方の中で、県とスポーツチームで取り組めることを相談しながら実施		

3 事例集（市町村）

3 事例集（市町村）

項目	内容		
事例番号	市 1	連携団体	県内市町村、株式会社JTB横浜支店
事例概要	スポーツツーリズムPR素材の作成 8種目(ウインドサーフィン、スポーツクライミング、スケートボード、BMX、カヌー、ゴルフ、ハイキング・トレッキング、サイクリング)		
実施年度	令和6年度		
内容	スポーツを通じた地域活性化に向けて、アウトドアスポーツやアーバンスポーツのツーリズムを推進するため、体験ツアーを基にPR素材(動画・画像・テキスト)を作成し、市町村をはじめとした多くの団体に広報利用していただく予定		
実施写真			
連携のきっかけ	アウトドアスポーツ及びアーバンスポーツのツーリズムを推進するため、PR素材を作成し、県内の各スポーツ団体、観光団体に使用していただく取組を県が実施する中で連携		

事例集（市町村）

項目	内容		
事例番号	市 2	連携団体	横須賀市、横浜 F・マリノス株式会社、一般社団法人F・マリノススポーツクラブ、京浜急行電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社
事例概要	横浜F・マリノス横須賀市ホームタウン20周年記念「F・マリノスビンゴdeラリー」		
実施年度	令和 6 年度		
内容	令和7年1月25日～3月16日まで開催したエキタグ※を使用したビンゴ形式のデジタルスタンプラリーであり、参加者はエキタグアプリをダウンロードし、駅等に設置されたNFCタグを読み取りスタンプを取得。ビンゴ対象となるエリアスタンプ9種類のうち、縦または横のビンゴを達成でビンゴに応じた特典が抽選で当たる。2種類の施設スタンプを集めると各景品の当選口数がアップする。 ※「エキタグ」ならびに「エキタグロゴ」は、株式会社ジェイアール東日本企画の登録商標です。		
実施写真	 ポスタービジュアル  SNSでの宣伝展開  アプリ画面		
連携の きっかけ	令和4年12月26日付で「久里浜地区のスポーツを核としたまちづくりに関する五者連携基本協定」を締結し、来訪者の増加と魅力あふれるまちにすることを目的に五者が連携を図り施策を実施※している。 ※令和4年度は「F・マリノススポーツパークオープン記念 横須賀久里浜ウォーク」、令和5年度は「練習場からスタジアムまでの沿線を巡る！F・マリノス開幕応援スタンプラリー2024」を開催した。		

4 事例集（大学）

4 事例集（大学）

項目	内容		
事例番号	大 1	連携団体	桐蔭横浜大学
事例概要	地域部活動指導者資格認定プログラムの実施		
実施年度	令和 5 年度～		
内容	○ 部活動の地域移行に係る指導者の養成を目的に実施 ○ プログラムは全 3 段階で構成され、段階に応じて単位やJSPO資格の習得が可能 ○ プログラム 1 の受講修了者は、県の「かながわ地域クラブ活動指導者データベース」への登録が可能		
実施写真			
連携のきっかけ	桐蔭横浜大学が部活動の地域移行に係る指導者の養成プログラムの検討を進める中で、県へ連携のご提案があり実現		

5 事例集（その他団体）

6 項目一覽

6-1 項目一覽（企業）

[illegible]

6-2 項目一覧（スポーツチーム）

事例番号	実施団体	事例概要	実施年度
ス1	横浜F・マリノス・大和シルフィード・湘南ベルマーレ・湘南ベルマーレフットサルクラブ・Y.S.C.C.横浜・Y.S.C.C.横浜フットサル・利エンタレバ・イシバスター・富士フイルム海老名MinervaAFC・横浜GRITS・木下アビエル神奈川・三菱重工相模原ダイナボアーズ・横浜キヤノンイーグルス・横浜エクセレンス・富士通フロンティアーズ・富士通レッドウェーブ・富士通加サレトス北カリツ	県民スポーツ月間での連携	令和5年度～
ス2	Y.S.C.C.横浜フットサル・株式会社KTグループ	県民スポーツ月間での連携イベント	令和5年度
ス3	富士通フロンティアーズ 富士通レッドウェーブ	センサリールームにおける試合観戦	令和5年度～
ス4	富士通フロンティアーズ 富士通レッドウェーブ	ろう学校に通う児童生徒の試合観戦	令和5年度～
ス5	大和シルフィード・一般社団法人乳がん予防医学推進協会	試合会場での乳がん予防検診	令和5年度～
ス6	横浜F・マリノス・横浜エクセレンス・湘南ベルマーレ・木下アビエル神奈川	東京2025デフリンピック機運醸成	令和6年度
ス7	横浜F・マリノス・横浜F C	働く世代の女性向け運動促進事業	令和5年度～
ス8	パナソニックエンジェルス	みなとみらいでLet's スローラン！ほか	令和6年度
ス9	横浜キヤノンイーグルス・ (三菱重工相模原ダイナボアーズ)	ジャパンラグビーリーグワン所属 横浜キヤノンイーグルスと三菱重工相模原ダイナボアーズの「神奈川ダービー」	令和6年度
ス10	横浜エクセレンス	横浜エクセレンスと湘南ユナイテッドB Cの「神奈川ダービー」	令和6年度
ス11	三菱重工相模原ダイナボアーズ	県立スポーツセンターにおける合宿	令和6年度

6 - 2 項目一覧（スポーツチーム）

事例番号	実施団体	事例概要	実施年度
ス12	横浜 F・マリノス・Y.S.C.C.横浜・大和シルフィード・ノジマステラ神奈川相模原・横浜エクセレンス・木下アビエル神奈川・富士通フロンティアーズ・富士通レッドウェーブ・湘南ベルマーレフットサルクラブ	フードドライブの推進	令和5年度～
ス13	神奈川フューチャードリームス・横浜エクセレンス・横浜 F・マリノス・湘南ベルマーレフットサルクラブ	「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及促進	令和6年度
ス14	横浜 F・マリノス・富士通レッドウェーブ・三菱重工相模原ダイナボアーズ	障害者がスポーツ観戦を楽しむ方法の実証	令和6年度

6-3 項目一覽（市町村）

[illegible]

6 - 4 項目一覽 (大学)

[illegible]

6-5 項目一覧（その他団体）

[illegible]